

兵庫 生野町 段ヶ峰



心地よい草原の風が吹く 段ヶ峰と高原の山々。

段ヶ峰は兵庫県のほぼ中央に位置します。この段ヶ峰山系の一帯は生野高原と呼ばれ、行楽地や避暑地として、四季を通じて生野町近郊や京阪神から多くの人が訪れます。

段ヶ峰 DANGAMINE

段ヶ峰は、生野町と一宮町との町境に位置し、瀬戸内海と日本海の分水嶺にあたります。雪彦峰山県立自然公園にも指定され、なだらかな山容、四季折々の自然や風景などが、多くの山の愛好家を魅了しています。登山道の整備が始まったのは、昭和30年代の中頃から。標高1,103mという手頃な高さもあって、初心者も気軽に山を訪れています。地元の生野町では、倉谷川の源流点があるこの山を「倉谷山」と呼んでいます。



フトウガ峰 FOTOGAMINE

フトウガ峰の山頂付近は笹野ヶ原とも呼ばれ、平坦なササの草原が広がっています。また、眺望も素晴らしく、360°のパノラマ視界が望めます。



TREE

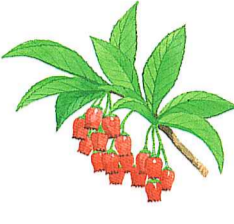
樹

トレッキングで自然と親しむ。

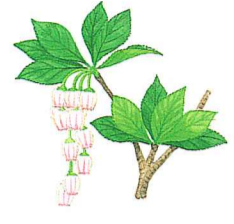
段ヶ峰の山々で生命を育む植物や動物たち…
夏でも涼しい生野高原の山々。標高600mを超えるこの高原には、平地とは異なる自然の営みがあります。また、春夏秋冬それぞれに、山々は彩り豊かに姿を変えていきます。目で耳で肌で実感してみてください。



◎アセビ
段ヶ峰縦走コースの山道沿いに多く群生。つぼ形の白い小さな花が咲きます。花期は5月。有毒植物です。



◎ベニドウダン
紅色の小さな花が咲きます。花期は5月。新緑も美しい。10月の中旬から下旬にかけて、鮮やかに紅葉します。



◎サラサドウダン
別名フウリンドウダン。花びらは薄い白色で、花冠が紅色に染まるのが特長です。花期は5月。紅葉も美しい。



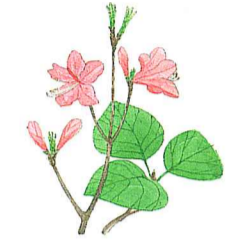
◎タニツギ
別名ベニツギ。すいかずら科。日本全国の野山に分布する落葉低木。淡紅色の花が咲きます。花期は6月。



◎ヒメウツギ
関東以南の山に分布する落葉低木。ゆきのした科。段ヶ峰周辺の花期は6月で、美しい白い花が咲きます。



◎クマシデ
雌雄同株の落葉高木で、花期は新緑の5~6月。黄褐色の雄花序とホップのような緑色の雌花序をつけます。



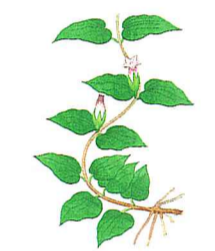
◎ミツバツツジ
蕾の前に3枚の葉が出るのが名前の由来。関東から近畿の野山に分布。花期は4~5月。秋には紅葉します。



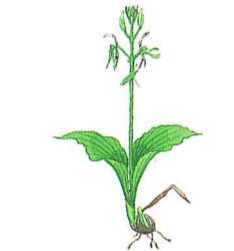
◎クリ
段ヶ峰周辺には、ニホンクリなどが自生しています。秋になると、イガのついたクリの実が登山道に落ちてます。

GRASS

草



◎ツルリンドウ
つる草の仲間。木陰の地面をうように生えています。花期は8~10月。淡い青紫色の小さな花が咲きます。



◎ジガバチソウ
『似我蜂草』とも書きます。高さが約10~15cmぐらいの多年草。花期は6~7月。雑木林の山道で見かけます。



◎ギンリョウソウ
花も茎も純白でユレイタケとも呼ばれます。6月の中頃、雑木林の落葉の下で見かけることができます。



◎モウセンゴケ
日の当たる野山の湿地に生える多年草の食虫植物。花期は6~8月。フトウガ峰周辺で探してみてください。

※段ヶ峰山系の気候と大地が植物の生命を育てています。自生の植物はそのままにしてください。

山歩きと一緒に生野探索

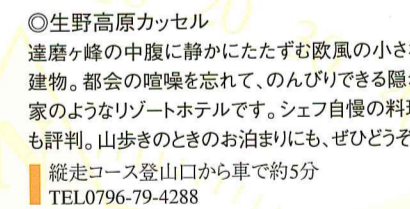
生野銀山の史跡や当時の面影を残す町並み、体も心もやすらぐ人気の施設など、麓にも少し足を延ばしてみよう。



◎史跡・生野銀山

天文11年(1542)の探掘後、昭和48年(1973)まで全国屈指の鉱山として操業した生野銀山。現在は、当時の姿を残した観光坑道や資料館、レストランなどがあります。銀細工の小物も人気です。

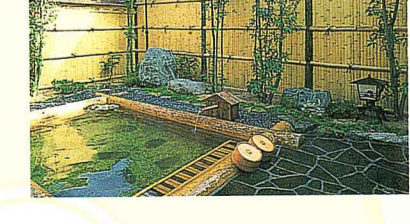
縦走コース登山口から車で約15分
TEL0796-79-2010



◎生野高原カッセル

達磨ヶ峰の中腹に静かにたたずむ欧風の小さな建物。都会の喧噪を忘れて、のんびりできる隠れ家のようなリゾートホテルです。シェフ自慢の料理も評判。山歩きのお泊まりにも、ぜひどうぞ。

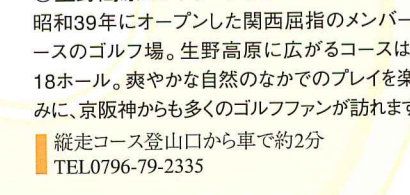
縦走コース登山口から車で約5分
TEL0796-79-4288



◎黒川温泉

生野町黒川にある小さな秘湯。アルカリ性単純泉で神経痛や筋肉痛などに効果があるといわれます。また、美人湯としても有名。露天風呂もあり、山歩きの疲れを癒してくれます。

縦走コース登山口から車で約45分
TEL0796-79-2067 (定休水曜日)



◎生野高原カントリークラブ

昭和39年にオープンした関西屈指のメンバーコースのゴルフ場。生野高原に広がるコースは全18ホール。爽やかな自然のなかでのプレイを楽しみに、京阪神からも多くのゴルフファンが訪れます。

縦走コース登山口から車で約2分
TEL0796-79-2335

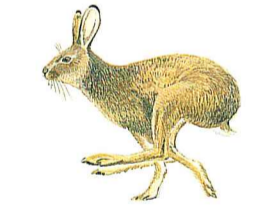
段ヶ峰山系の森の仲間たち



◎タヌキ
最近では麓にも姿を見せるようになりました。数も増えているとか。夜行性なので、昼間はあまり見ません。



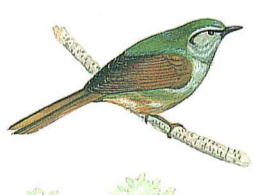
◎カクシ
木の上で暮らす動物ですが、足跡を見かけることも。「白鼻心」の名の通り、鼻筋に通った1本の白線が特長。



◎ノウサギ
夏には茶褐色、冬には白色の毛並みをしています。段ヶ峰山系でも、比較的好く見かける森の仲間です。



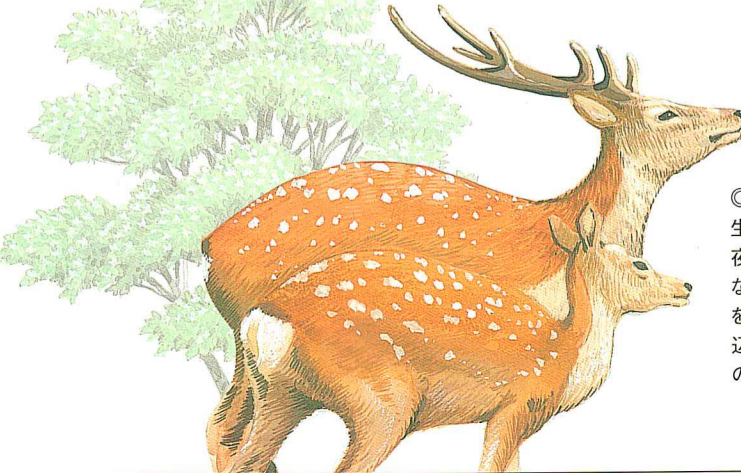
◎リス
段ヶ峰山系で見かけるのはニホンリス。いつもキョロキョロして、活動時間は午前中。



◎ウグイス
鳴き声はお馴染みの「ホーホケキョ」です。気候が涼しいので、段ヶ峰のウグイスは春から夏まで鳴いています。



◎オオサンショウウオ
国の特別天然記念物。生野町では「アンコウ」と呼んでます。喘みついたら雷が鳴るまではしません。



◎ニホンジカ
生野高原で最もよく見かける動物です。夜間と早朝に活動して、木の芽や葉などを食べます。夜になると麓にも姿を見せることも、しばしば。ゴルフ場周辺の町道にも現れます。夜間は車の運転も要注意です。

フィールドサインを探そう!

段ヶ峰 入口

◎フィールドサインとは
森の野生動物たちの多くは、人から姿を隠したり、夜行性だったりして、登山中に姿を見るのは運次第といえます。でも、足跡や食痕などで彼等の生息は確認できます。こうした痕跡をフィールドサインといい、間接的な動物観察の方法のひとつとして用いられています。

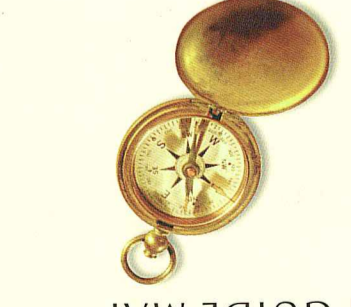


◎足跡
動物の種類を最も判別しやすいフィールドサインが足跡です。地面に足跡を見つけたら、サイズ、形、配列を調べてみましょう。

◎食痕
動物の食物の痕跡を食痕といえます。ニホンジカは、木の皮を剥くような痕跡を残します。



お問い合わせ
生野町役場 まちづくり政策課
TEL.0796-79-5810 FAX.0796-79-4638
E-mail: ikuno@skyblue.ocn.jp
ホームページ: <http://www.kansai.ne.jp/ikuno/>



MT. DANGAMINE TREKKING GUIDE MAP

【車】登山口から約1時間、京阪神から約2時間、福知山線から約1時間、(生野町) 生野町駅下車徒歩15分
【鉄道】生野町駅下車徒歩15分、(生野町) 生野町駅下車徒歩15分
【バス】生野町駅下車徒歩15分、(生野町) 生野町駅下車徒歩15分



段ヶ峰トレッキングガイドマップ

段ヶ峰の登山コースが、関西の登山愛好家に広く紹介されたのは、昭和30年代の中頃。以来、山登りが楽しめる身近な山となりました。山頂までのコースは、見晴しのいい尾根道や滝登りなど、醍醐味も満点。自然の営みや四季の彩りも満喫できるコースです。



段ヶ峰山頂からの眺望は素晴らしい。天気の良い日には、南に播磨灘、北に水ノ山が遠望できる。

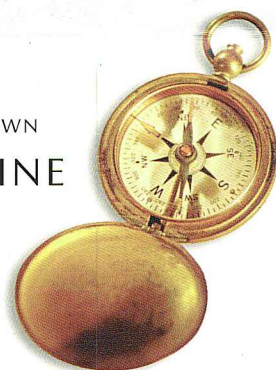


縦走コース登山口から約3時間で段ヶ峰山頂に到着。



千町峠の登山口から山頂をめざす登山道は、段ヶ峰登山の最短コース。

HYOGO-PREF. IKUNO-TOWN
Mt. DANGAMINE
TREKKING
GUIDE MAP



フトウガ峰分岐から段ヶ峰山頂をめざす。縦走コースの後半は、深いササに開けた緩やかな尾根道が続く。



天気の良い日には、フトウガ峰分岐付近から、明石海峡大橋や大鳴門橋が見えることがある。



フトウガ峰山頂は広々としたササ原。視界は360°のパノラマで、絶景の休憩ポイント。夏は草原の風が心地良い。



フトウガ峰山頂付近に点在する大きな岩に腰をおろして一休み。お弁当タイムも楽しい。



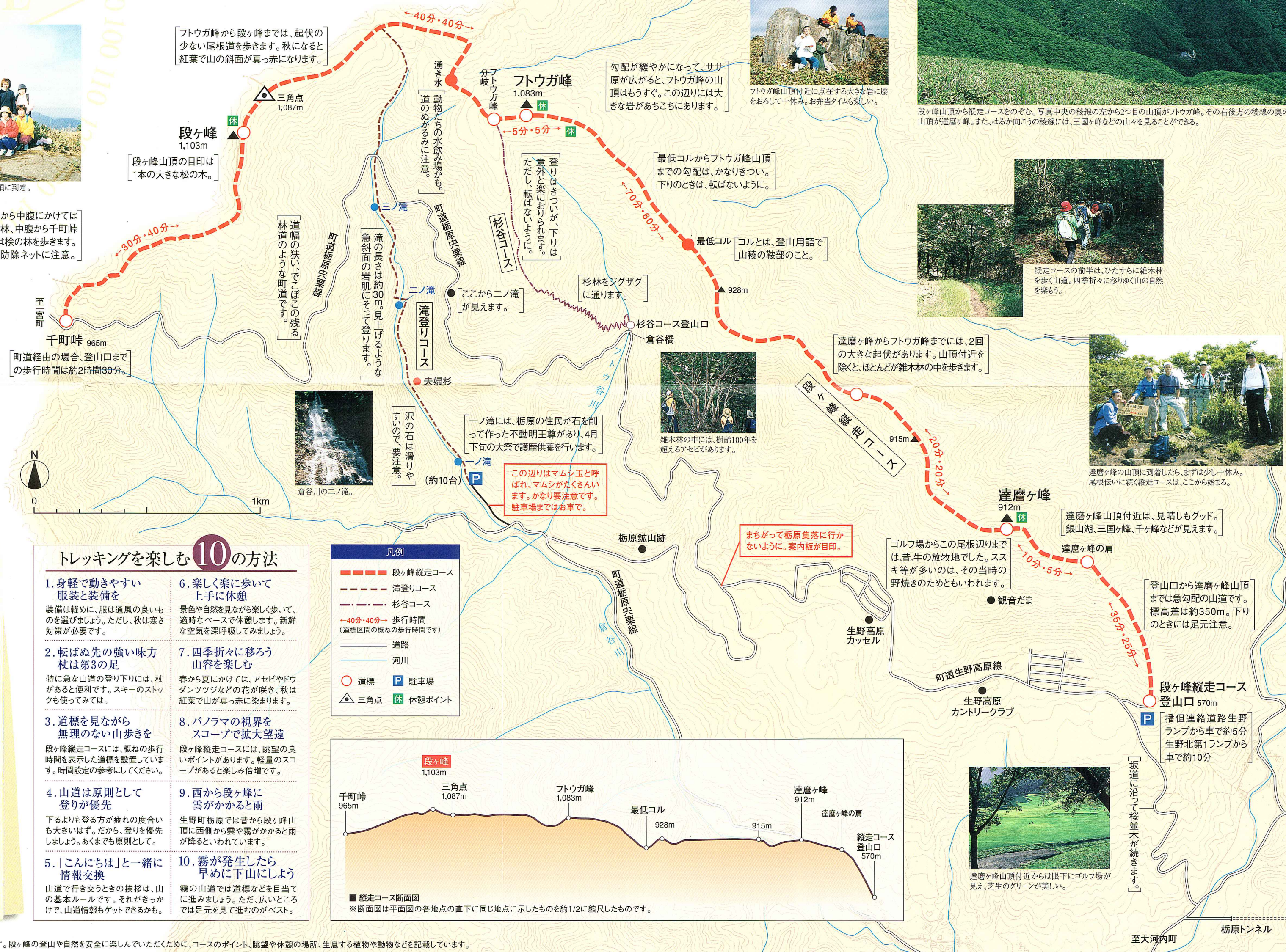
段ヶ峰山頂から縦走コースをめざす。写真中央の稜線の左から2つ目の山頂がフトウガ峰。その右後方の稜線の奥の山頂が達磨ヶ峰。また、はるか向こうの稜線には、三国ヶ峰などの山々を見ることが出来る。



縦走コースの前半は、ひたすらに雑木林を歩く山道。四季折々に移りゆく山の自然を楽もう。



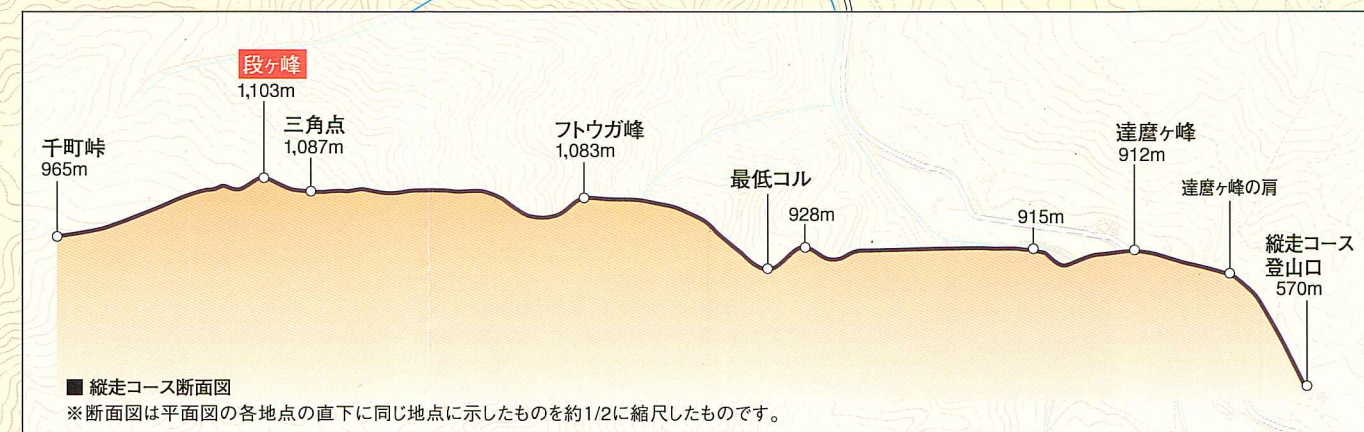
達磨ヶ峰の山頂に到着したら、まずは少し一休み。尾根伝いに続く縦走コースは、ここから始まる。



- ### トレッキングを楽しむ10の方法
- 身軽で動きやすい服装と装備を**
装備は軽めに、服は通風の良いものを選びましょう。ただし、秋は寒さ対策が必要です。
 - 転ばぬ先の強い味方は第3の足**
特に急な山道の登り下りには、杖があると便利です。スキーのストックも使ってみては。
 - 道標を見ながら無理のない山歩きを**
段ヶ峰縦走コースには、概ねの歩行時間を表示した道標を設置しています。時間設定の参考にしてください。
 - 山道は原則として登りが優先**
下るよりも登る方が疲れる度合いも大きいはず。だから、登りを優先しましょう。あくまでも原則として。
 - 「こんにちは」と一緒に情報交換**
山道で行き交うときの挨拶は、山の基本ルールです。それがきっかけで、山道情報もゲットできるかも。
 - 楽しく楽に歩いて上手に休憩**
景色や自然を見ながら楽しく歩いて、適時なペースで休憩します。新鮮な空気を深呼吸してみましょう。
 - 四季折々に移ろう山容を楽しむ**
春から夏にかけては、アセビやドウダンツツジなどの花が咲き、秋は紅葉で山が真っ赤に染まります。
 - パノラマの視界をスコープで拡大**
段ヶ峰縦走コースには、眺望の良いポイントがあります。軽量のスコープがあると楽しみ倍増です。
 - 西から段ヶ峰に雲がかかると雨**
生野町 栃原では昔から段ヶ峰山頂に西側から雲や霧がかかると雨が降るといわれています。
 - 霧が発生したら早めに下山しよう**
霧の山道では道標などを目当てに進みましょう。ただ、広いところでは足元を見て進むのがベスト。

凡例

	段ヶ峰縦走コース
	滝登りコース
	杉谷コース
	40分・40分 歩行時間 (道標区間の概ねの歩行時間です)
	道路
	河川
	道標
	駐車場
	三角点
	休憩ポイント



初心者コース

段ヶ峰縦走コース

【歩行時間】登り:3時間、下り:2時間55分

達磨ヶ峰とフトウガ峰を尾根伝いに歩いて、段ヶ峰山頂をめざす往復約6時間のトレッキングコース。初心者も安心して楽しめるので、季節毎に訪れるファンも多いです。

上級者コース

滝登りコース

【歩行時間】登り:3時間

倉谷川の本流沿いに3つの滝を登って、段ヶ峰の山頂をめざす上級者向けのコースです。木の枝についている黄色のプレートや赤いテープを目印に、チャレンジしてみてください。

初心者コース

杉谷コース

【歩行時間】登り:1時間30分、下り:40分

フトウガ峰の山頂と町道を結ぶ最短のコース。急勾配の杉林を通るため、足元注意。目印は、木の枝に巻き付けたプレートと赤いテープ。下山に利用する人も多いです。

※歩行時間は、季節、天候、体調、経験などで異なります。

※この登山マップは、生野町の住民が中心になって実際に山を歩いて作成したものです。段ヶ峰の登山や自然を安全に楽しんでいただくために、コースのポイント、眺望や休憩の場所、生息する植物や動物などを記載しています。